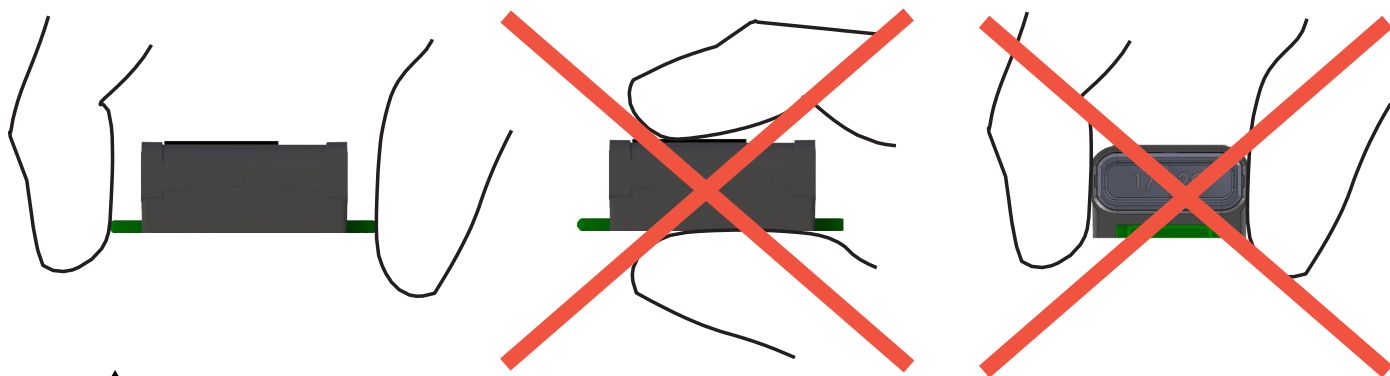


取り扱いマニュアル

Senseair Sunrise

NDIR方式CO₂センサモジュール

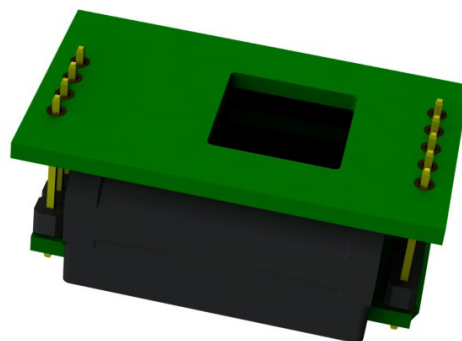
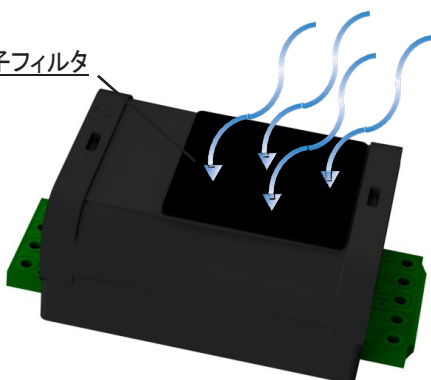


注意:
当製品はESD(静電気放電)の影響を受ける製品です。
ESD保護対策をとってください。



注意:
センサを持つ際は、PCB部分のみを持つようにしてください。
素手でセンサに触れないでください。ほこりや油分、
その他の汚れを避けるため、清潔な手袋を使用してください。
センサに力を加えないでください。

粒子フィルタ



注意:
適切な空気の流れと、環境の変化に対するセンサの速いレスポンス時間を確保するために、粒子フィルタを塞がないでください。

取付け・はんだ付け

一般的なはんだ付けの規格・基準に従って、はんだ付けを行ってください。

スポットはんだ装置: はんだ付け温度295°C、3秒間

手はんだ: はんだ付け温度380°C、2秒間/ピン

はんだ付けはPCBの、OBA実装の反対側から行ってください。

機械的特性

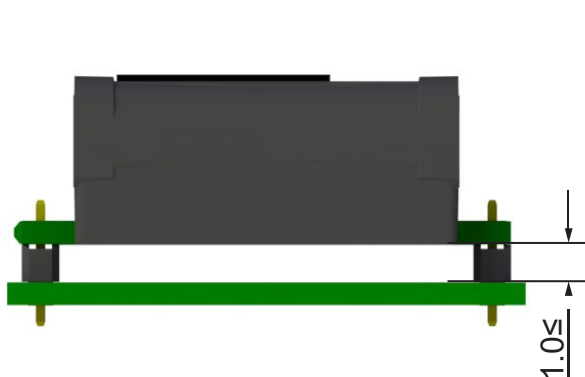
外径寸法、許容値の詳細については、外形図をご参照ください。

レイアウト上の配慮

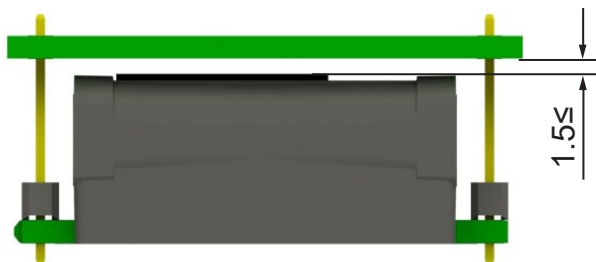
基板の熱膨張によるセンサへのストレスを低減するため、メイン基板に切り込み、スリットなどを施してください。



注意：
センサに接着や樹脂ポッティング加工を行わないでください。



[mm]



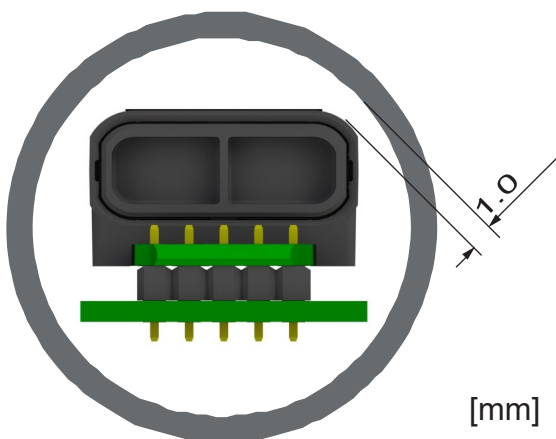
[mm]



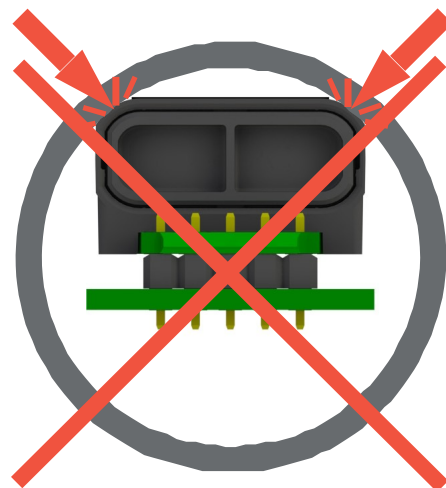
注意：
センサからカバー/PCBまでの最小距離は
 $\leq 1.0\text{mm}$ としてください



注意：
粒子フィルタからカバー/PCBまでの最小
距離は $\leq 1.5\text{mm}$ としてください



[mm]



注意：
センサからカバー/PCBまでの最小距離は $\leq 1.0\text{mm}$ としてください

保存

センサはESD保護バックに入れて保存してください。

保存温度：仕様を参照してください。

保存環境の条件：通常のIAQ（屋内空気質）環境、腐食性のある環境は不可。

検査・検証

センサの輸送、取扱い、組立ではセンサの校正に影響を与える場合があります。センサの精度は、通常のIAQアプリケーションにおいて、ABC機能（自動ベースライン補正）がON、連続測定で3回のABC演算期間の後の定義です。

アプリケーションにより、センサのカスタム化のオプションが検討可能です。センスエア社または販売代理店にご照会ください。

可能な限り、センサの輸送後はセンサのチェック、ゼロ校正を行ってください。